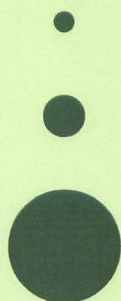


座 談 会

アートのつなぐ

表現のための居場所づくり



人と人がつながろうとするとき、そこに「表現」が生まれます。出会いの場で、互いに“わかる”、“つながる”ための表現は、言葉にとどまりません。むしろ表現やコミュニケーションは、身体深くに根ざしているのではないのでしょうか。アートを通じたさまざまな表現は、個人の身体感覚や内的世界に根ざしていると同時に、他者や世界にひらかれ、つながるためのチャンネルになる可能性をもっています。

今回の座談会では、多様な現場で活動しているアーティストたちを招いて、“アート”や“表現”について語り合ってみたいと考えています。この座談会が、わたしたちの最初のつながりとなり、今後の活動に展開していくことを期待しています。

また、表現する主体としての“人”の身の置き所としての居場所＝フリースペースづくりへとつなげていきたいと考えています。

語り手

光島貴之(造形作家)

山本雅俊(額匠 雅士呂)

市川信也(写真家・精神科医)

聴き手

假家素子

日時

2006年2月18日(土) 午後2時～4時

場所

立命館大学衣笠キャンパス創思館2階トレーニングルーム3

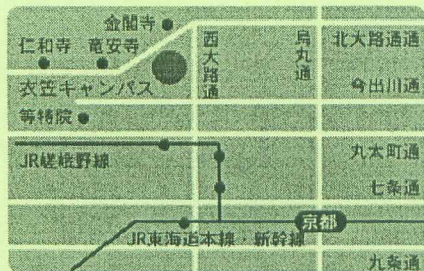
申込み

立命館大学人間科学研究所(担当荒堀・春田)

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

tel > 075-465-8358

E-mail > ningen@st.ritsume.ac.jp



<定員 20名・参加無料>

主催 立命館大学人間科学研究所

共催 立命館大学心理・教育相談センター